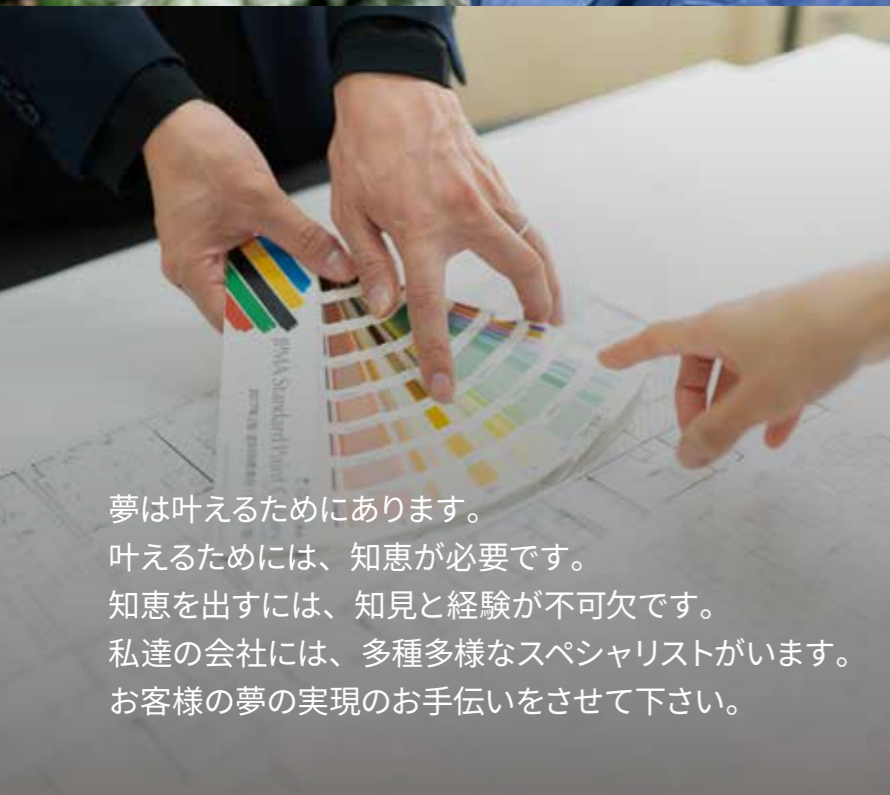


**SANKEI**  
**BLDG**  
**TECHNO**  
COMPANY PROFILE

2023.6.26



夢は叶えるためにあります。  
叶えるためには、知恵が必要です。  
知恵を出すには、知見と経験が不可欠です。  
私達の会社には、多種多様なスペシャリストがいます。  
お客様の夢の実現のお手伝いをさせていただきます。

# COMPANY

(The SANKEI BLDG TECHNO Co., Ltd.)

1971 4 30

8,000

58 2023 4 1

101-0054 1-19-1 2F

TEL 03-5577-3001

532-0003 1-2-6 3F

TEL 06-6318-8088

4 19943

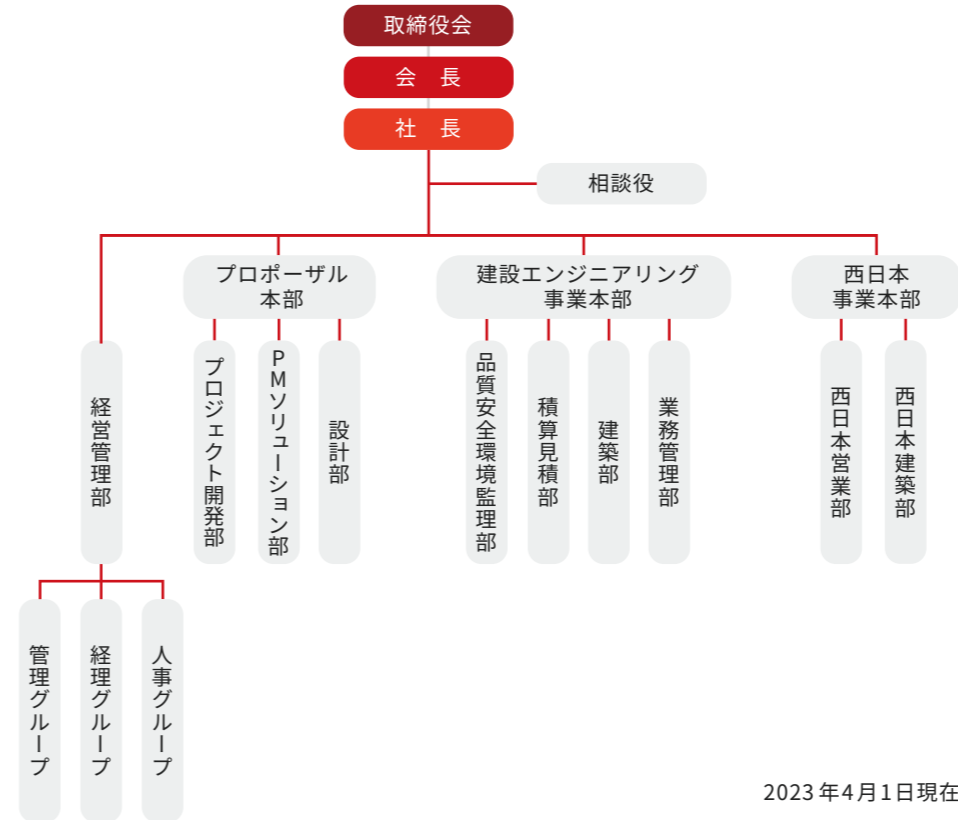
4 19943

23137

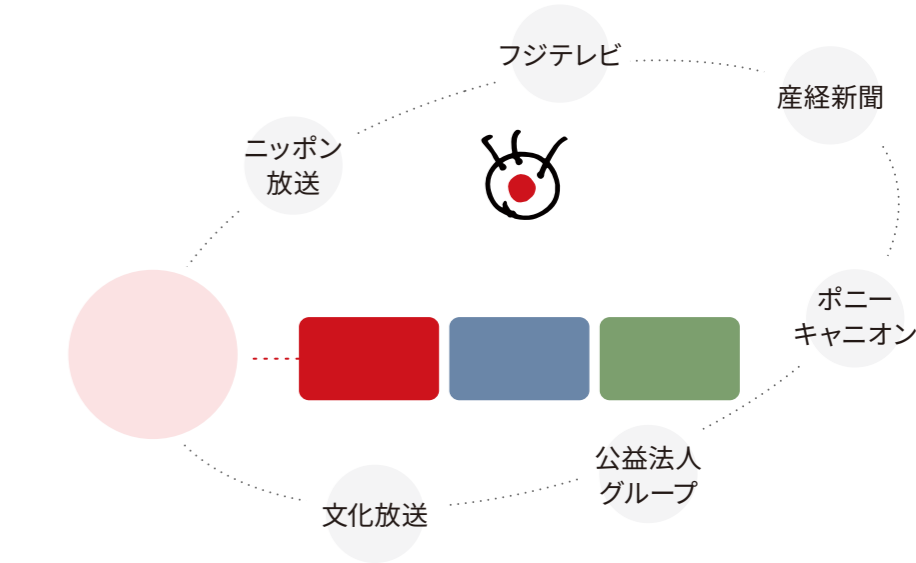
2910217

2 3078

1 107876



2023年4月1日現在



フジサンケイグループ(FUJISANKEI COMMUNICATIONS GROUP 略称 FCG 代表:日枝久 HIEDA hisashi)は82社、4法人、3美術館、16,000名の従業員からなる日本最大のメディア・コングロマリットです。フジサンケイグループは、テレビ、新聞、ラジオ、出版、映画、音楽、ソフトパッケージ販売、通信販売、および不動産などの幅広い分野で、長年にわたる実績を高く評価されており、彫刻の森美術館・美ヶ原高原美術館・上野の森美術館での文化事業や、内外のマスコミから“文化のノーベル賞”と称賛されている「高松宮殿下記念 世界文化賞」にも取り組んでいます。

	2023年6月16日付		2023年6月16日付
代表取締役会長	館野 登志郎	社長執行役員	佐藤 靖
代表取締役社長	佐藤 靖	執行役員相談役	武井 増雄
取締役相談役	武井 増雄	常務執行役員	末松 郁朗
常務取締役	末松 郁朗	常務執行役員	阿知良 充
取締役	齊藤 正義	上席執行役員	齊藤 正義
取締役(非常勤)	阿部 敏則	上席執行役員	田島 宏一
取締役(非常勤)	渡邊 浩一	執行役員	植田 裕
監査役	田中 健二	執行役員	増田 英樹

株式会社フジ・メディア・ホールディングス(代表取締役社長兼COO金光 修 KANEMITSU osamu)は、2008年に発足した日本初の認定放送持株会社です。メディアとは「人と人を繋げるもの」ととらえ、放送事業を中心に、『都市開発・観光』、『メディア・コンテンツ』、『その他』の3つの事業セグメントで構成されています。サンケイビルテクノは『都市開発・観光』セグメントのサンケイビルグループに属しており、建築/内装の企画、設計・施工を中心に事業を展開する建設エンジニアリング会社です。

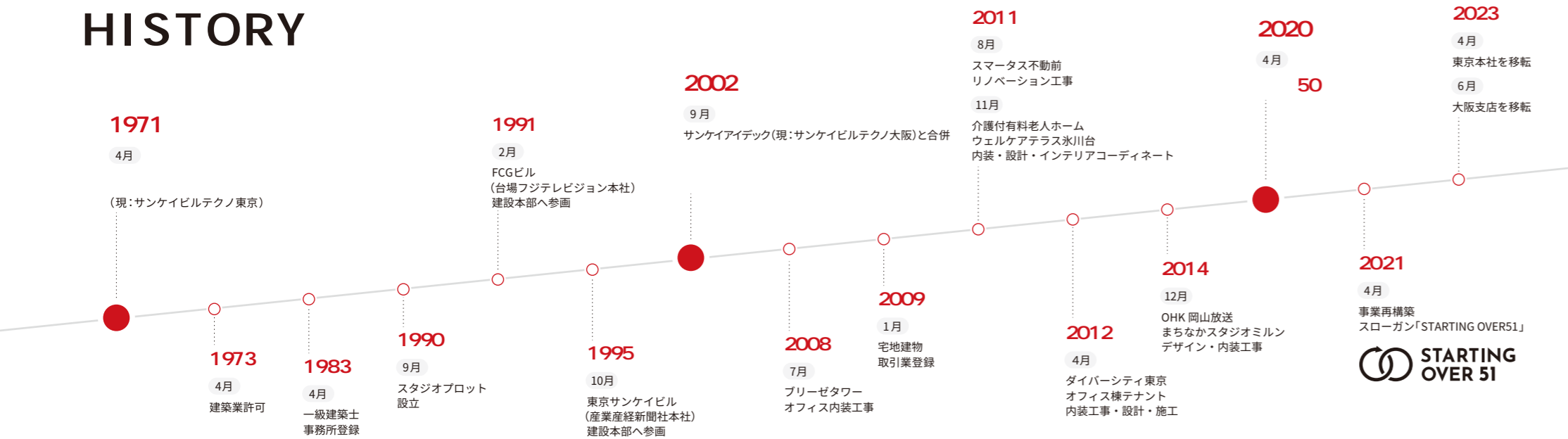
# TOP MESSAGE



私達は、ナンバーワンより、オンリーワンを目指し、特徴的な分野を深耕しながら、成長を続けています。  
 例えば、放送局。例えば、テーマパーク。例えば、データセンター。例えば、生産施設。例えば、オフィスビル。  
 これらのプロジェクトを成功させるためのお客様のパートナーとして、一緒に走りたい。これが、私達の願いです。  
 建設に関する専門知識、経験、資格を有したメンバーが、皆様のプロジェクトの成功を目指して、  
 全力で伴走いたしますので、お気軽にご相談下さい。

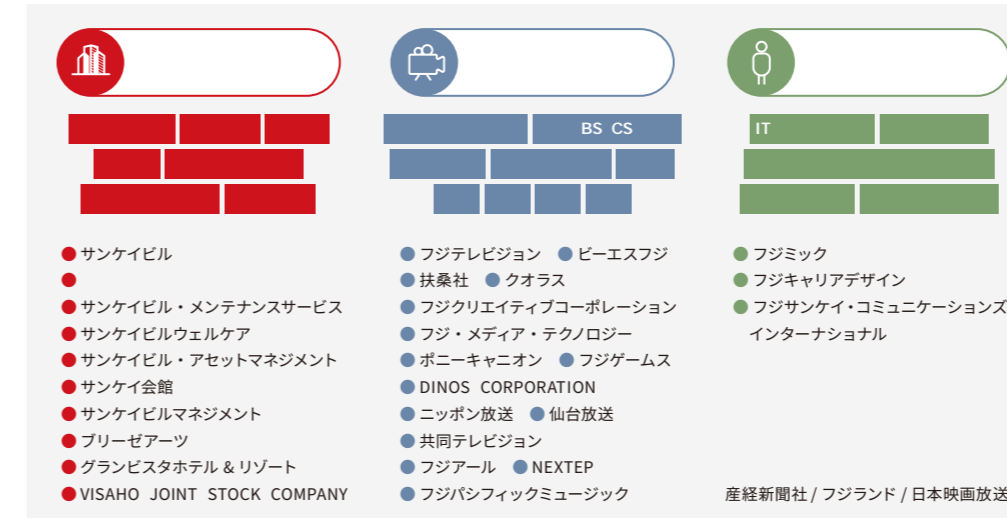
代表取締役社長 佐藤 靖

# HISTORY

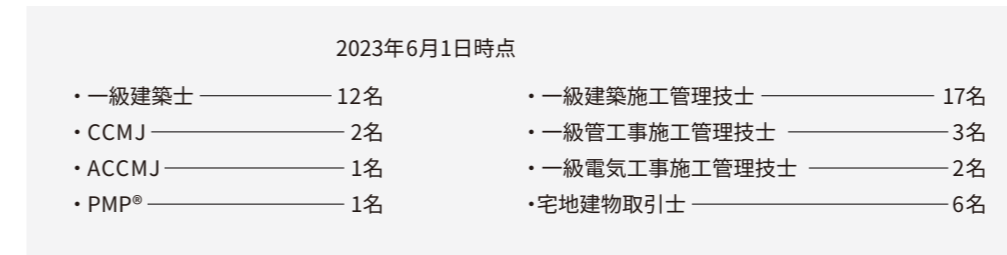


# STRENGTHS

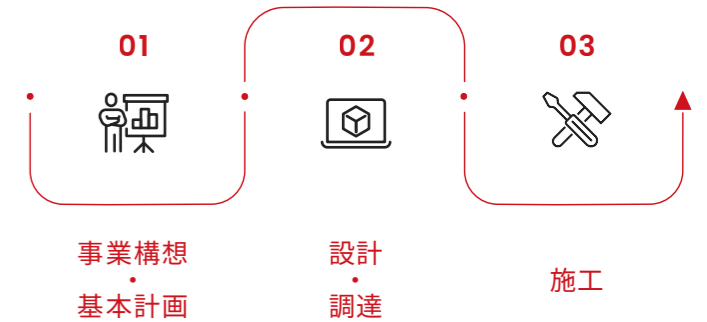
フジサンケイグループが手がける多種多様な機能を活用し、建築物の完成後の事業PR展開などについても幅広くご提案します。



大手ゼネコン、設計事務所などから、経験豊かなマネージングスタッフが集結し、お客様の事業を力強くサポートいたします。



オフィス移転計画、テーマパーク、データセンター、生産施設の再構築など、計画段階から完成まで一貫通貫して対応させていただきます。



東京、大阪の二拠点から、全国主要都市の案件にフレキシブルに対応いたします。

建築の専門知識を持った外国語対応ができるスタッフが常駐し、外資企業を支援いたします。

# SERVICE

1



PM

事業計画の実行を主目的としたマネジメントを行います。  
メディアからディベロッパーなどグループ各社との連携によりクライアントのビジョンの実現を支援。  
企画・提案からデザイン・設計に加え、建築施工から施設運営、施設プロモーションまで専任のプロジェクトマネジャー（PMr）がプロジェクトのスタートから実行までサポートいたします。



未来構想を具現化するため、何度も試行錯誤を重ねながら実現可能な事業までの道筋を構築します。

2



お客様の理想を形にするため、多様な実績とノウハウを駆使し、空間価値の最大化を実現いたします。

3



専門知識をもったコンサルタントが、お客様と現場の間に立ち、プロジェクト内で発生した問題を解決に繋げ、進捗を監理・監修します。



CM

建築遂行を主目的としたマネジメントを行います。  
建築主様の代行として、施工会社の選定から見積査定、品質や工程、コスト管理まで監修。元請け型のアットリスクCM、コンサルティング型のピュアCMなど、プロジェクトの特性に合わせ、最適なスキームをご提案いたします。



見える化しづらい技術的な部分の透明性を担保し、安心したものづくりを提供するように努めます。



















## 大規模な工場再構築計画の グランドデザイン

建物 GL HAKKO 本社 中津工場  
 施主 株式会社 GL HAKKO  
 グランドデザイン 株式会社サンケイビルテクノ  
 所在地 大分県中津市  
 業務期間 2022年2月-2022年5月

プロジェクト背景として、製品の増産増量を余儀なくされる中、最終工程の組立工場の手詰まりと老朽化により空地のスペースへの増築計画を進めている状況でした。

調査の結果、過去の経緯から建屋、生産機器、インフラ、物流、人流はその場その場に対応し凌いでおり、各所でさまざまな課題が抽出されました。そのような経緯から最適な計画と投資を行うためのグランドデザインに繋がりました。

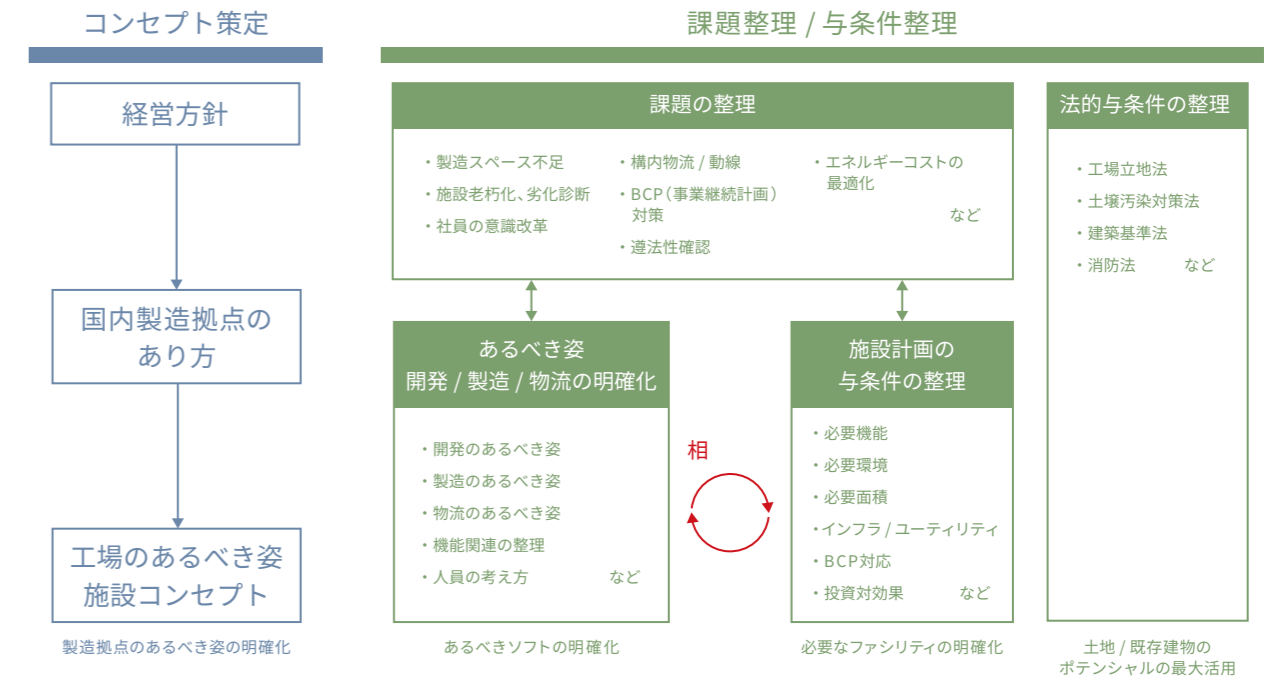
BCPの観点からも建屋老朽化及び適法化を第一優先とし、かつ「生産ライン」上のボトルネックとされる「炉」を止めずにいかに効率よく工場再編を行えるかが最大のミッションとなりました。製品は「一品受注生産品」であり、ミス・ムリ・ムダ・ムラ(=4M)と地域社会への責任も視野に入れた将来のインフラ整備も含めて提案を行いました。

## 将来 (グランドデザイン) 策定の目的

最適な計画と投資を行うために

- ・ 将来を見えた工場のあるべき姿の明確化(コンセプト策定)
- ・ 課題整理 / 与条件整理

を行い、どのくらいのコストで建物投資をすべきかの**経営判断材料**をまとめます。




ケーススタディ(製造拠点のあり方 / 建物配置 / 再構築ステップ )により  
 各ステップの 用・期間を明示

＋ 課題解決の手法提示

グランドデザインの決定



<https://www.sankeibt.com/> 



株式会社サンケイビルテクノ

COPYRIGHT©2023 The SANKEI BLDG TECHNO Co., Ltd. ALL RIGHTS RESERVED